

No.48

平成22年4月1日発行

発行 ● 育心会 広報委員会
住所／盛岡市西松園二丁目5番1号
電話 019-661-6266
FAX 019-661-6260
E-mail matuzono-heights@ikushinkai.jp
http://www.ikushinkai.jp/

空



広 報



社会福祉法人 育心会

- 軽費老人ホームB型松園ハイツ
- 特別養護老人ホーム 第二松園ハイツ
- 第二松園ハイツデイサービスセンター
- 第二松園ハイツヘルパーステーション
- 第二松園ハイツ介護支援センター
- 第二松園ハイツ指定居宅介護支援事業所
- 育心会福祉交流館「暖炉の家」

辞令交付の日

毎年、三月半ばを過ぎると恒例の人事異動が内示され、悲喜交交の季節となります。昇格や昇任人事のほかに人によっては転勤や退職などを言い渡され、家族にどうでもこの時期は心穏やかとなれないものです。

國の度重なる定年延長への誘導も及ばず、企業の多くは六十歳定年を固守しています。喜びに満ちた還暦祝賀会の余韻がまだ醒めやらぬうちに、退職後の厳しい人生設計が関係者には待ち構えています。

今年の定年に当たる人は、変化に富んだ戦後史を生き抜いてきた「団塊世代」の最終ランナーたちです。大量の中堅社員が職場から立ち去る現象はもとより、その後の経営に及ぼす影響は、計り知れなっています。

当育心会では、三人の方がたがその時期を迎えるました。福祉の現場において利用者の心の栄養源となり、後輩たちを親身に見守ってきた有能な人材が惜しまれてなりません。「職員の貴重な人生と共に歩む」という経営の基本にそって、三人全員が今の仕事を続けていただけのことなりました。

四月一日は、法人の辞令交付の日、再スタートの日です。

(施設長 高橋 勝彦)



への一筆啓上

宅配便コーナー

入居させていただいてから早や一年。
以前の生活からは考えられないくらい顔色が
よくなっているのを感じます。

二戸で一人暮らしをしていた頃の生活は、食事・入浴・身の回りのこと、通院のこと、近所付き合いのこと等、その他諸々、本人も大変だったでしょうが、離れて心配している側も大変でした。今は、その全てにおいて心配しないで生活できていることに感謝しております。

いろいろご迷惑をおかけする」とがあると
思いますが、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

Dさん(軽費)

本人は、利用日をとても楽しみにしておりまして、特に、入浴させていただけると喜んでおります。自宅では、私一人ではとても、入浴させることは出来ませんのです。それから、「おやつ」を皆さんとわいわいいただきるのは楽しいと云つてました。

家族では、ついつい雑になってしまって、しまう介護ですが、私共には気がつかないことを見つけていただきたり、うつかりミスを感じていただいたら、有りがたいと思っております。

中々連れだせない家族にとつては、シーズンの、お出かけは、本人に刺激となり、とても良いことをしていただいていると思います。

Eさん(デイサービス)

主人は、年中休みなしでお世話になっております。

朝、出勤する気分で出かけます。

毎日、自己中心の社会生活をさせていただくでしようから本人としては、今、一番幸せに生きているものと思います。それだけに、廻りに多大な迷惑をかけていることでございましょう。

我が家は、老人二人暮らしなので主人が出かけて帰るまでは、私の生活も全く自由にさせていただいている。

松園ハイツさんのおかげで、老人二人が助けられています。

こんな二人とも至福の時や毎日をいただけることに感謝の言葉のみです。願うことは、これからも大きい変化なしに静かに過ごしたく思っています。

Aさん(デイサービス)

平成18年3月、つれ合いで先立たれ、川越から盛岡にきて、早や4年。皆さんのおかげで86歳になりました。

毎日のデイサービスで楽しい刺激を受けているせいか、認知症も進んではいるものの緩やかで、嬉しく思います。

いつも「わたし、どこに行くのかしら…?」と不安な様子に「大丈夫!お風呂に入つて昼御飯たべて、唄つて、楽しいところだから」と…。

今日も笑顔いっぱい手を振り、送りましょう。「いってらっしゃい。」

Bさん(デイサービス)



母は、松園ハイツが大好きです。

私も訪れる度、その良さに実感しています。

まず、玄関に季節のお花がいつも豊かに飾られていて心が和みます。廊下やサロンも全館暖房になったため、温度差に身をすくめなくていい事。サロンでは、入所の方々が楽しそうに談笑をしています。

風呂好きの母は、日中も入浴できるようになったことをとても喜んでいます。居酒屋、農園体験etc、スタッフの方々のご苦労に頭が下がります。おかげで、母は幸せなので私も嬉しいです。

Cさん(軽費)

ハイツには、どの部屋からも見える大きな庭がある。
長く厳しい松園の冬、みどり豊かな春、四季がゆっくりと流れている。
色々な経験を持つ住人が住むハイツだが、皆元気がよい。
きっとここには、自由があるからなのではないだろうか。
その生活を守るスタッフの努力には、感謝をしています。
ルールさえ守れば、平等に自由がある。
そんな空間と時間が、ハイツには感じられる。

Fさん(軽費)



ハイツに寄せて

母が、第二松園ハイツにお世話になって2年になります。
個人的なことですが、最近とても心に残る出来事がありました。

腰痛のためしばらくの間、入浴していなかった母が久しぶりに入浴をした時のことです。母が強く入浴を拒んだらしく、職員の方がかなり苦労をして説得して入浴をさせてくださったようでした。

母を説得することがどれほど大変だったか、私には十分に察せられました。そして、「母を寝たきりにしたくない。」「母の様子をみながら、無理のない範囲内で、少しだけ頑張れば出来ることはやっていこう。」という職員の方の気持ちが強く伝わってきて、本当に感謝で胸がいっぱいになりました。

Hさん(特養)

妻が、松園ハイツに入所させていただけてから、早いものでもう三年が過ぎました。

病気のため、言語障害が残り会話ができないため、職員さんや看護師さんにいつもご迷惑をおかけしております。一年を通じての、夏まつり、敬老会、クリスマス会等の行事も楽しく、私たち家族の者も喜んで参加させていただいております。

Iさん(特養)

ハイツさん ご家族様からの

こちらに、お世話になって早や1年がすぎました。

前の施設では、時間でおむつ交換だけでしたが、今では介助を受けトイレに行くことが出来るようになりました、感謝の気持ちで一杯です。

楽しい行事も沢山有り、母も安心して生活を楽しんでいるようです。母の「また明日ね」の言葉に元気を貰い、私のハイツ通いも日課になりました。帰りに、スタッフの皆様から「ありがとうございました」と声を掛けて頂きますが、それはこちらの言う言葉といつも違和感を覚え心苦しく思います。私達家族には、ご苦労様とか、おつかれ様のほうがすっきりします。

こちらから感謝の気持ちを籠めて、ありがとうございます。

Gさん(特養)

感謝です。
これからも、皆様のご意見に耳を傾け
身近な育心会であり続けます。



子どもたちもやってきた!

暖炉の家は、社会貢献のひとつの形として地域に開放し、小さなお子様やお母様方の活動の場としても利用していただいております。

暖炉の家にかわいい子供たちの声が聞こえてきますと、松園地区の希望ある未来を感じます。



お母様方の声



明るく、暖かくて広々としているので、安全に快適に過ごしています。

特に冬場は子供たちを思いっきり遊ばせる場所が少ないのですが、とても助かります。

薪の燃える匂いが好きです。子どもにとっても自然の暖房が、からだに優しい感じがします。



育児サークルミッキーのご紹介

松園地区にいくつかある育児サークルのひとつで、6組の親子で活動しています。

1～2歳の子供と、育児している母親が気軽に集まり、子供を遊ばせたり、母親同士おしゃべりしたり楽しんで活動しています。地域で同じ世代で集まれることはたいへん貴重な時間です。

去年の11月から12回利用しました。

調理実習した介護食を食べながら、お話を聞きました。



菊池多美子先生は西和賀に現在お住まいです。福祉分野で活躍をしながら豪雪地帯でのヘルパーの体験を著書「福祉の鐘を鳴らすまち」で書き下ろし、私たちに感動と共感を与えてくださいました。



午前中は介護食のレシピより春のメニューを調理実習しました。
12時から会食をしながら菊池多美子先生からホームヘル

パーでの豊富な体験を踏まてのお話しをじかに聞かせていただき、共感できることができ多く、皆熱心に聞き入っていました。

菊池多美子さんを訪問介護事業所研修会

3月13日(土)

育心会 たくみ 職員シリーズ その1 わたしにまかせて!

訪問介護事業所の“食の匠”昆野鈴子さんです。

自家製の漬物は無添加食品で体にやさしい味がします。ハイツの秋祭りには漬物の即売会をして完売いたしました。「毎年楽しみにしていますよ！」と漬物ファンも多くあります。また、懐かしい味のおやつやひつみも得意のレパートリーです。



得意の一品しょうゆ溜まり漬け



上からカブの漬物、ふき味噌、きゅうりとキャベツの即席漬け



漬物の達人



紹介します！委員会活動

育心会では、ご利用者様が、安全・安心・快適に過ごしていただけるように、委員会を設置し、各委員会の目標に沿って課題に取り組み、職員の質の向上に努めています。

●福祉サービス向上委員会

主担当 菊池和江

皆様からのご意見やご要望、また職員自ら気づいた提案事項を検討し、サービスの向上に努めています。今年度はテーマを決め、直接、皆様の声をお聞きして参りたいと思っております。

●研修委員会

主担当 澤田 敦

研修を通し、職場における業務の質を高め、利用者・家族の満足度をさらに高めています。また、サービス向上にとどまらず、職員の心身の健康を保持し、健全な職場環境を切り拓いていきます。

●感染症対策委員会

主担当 柳館 純

感染症予防のためのわかりやすいポスター掲示や注意の喚起、基本の手洗いうがいを意識づけ、安心安全な暮らしをサポートしていきます。

●褥瘡対策委員会

主担当 沼袋節子

褥創ゼロを目指し活動していきます。最新情報を習得して、スキンケアを行い早期発見に努め、苦痛のない快適な生活が送れるよう援助していきます。

●広報委員会

主担当 中安福子

表紙を見た瞬間から「わくわくドキドキ」する広報紙を目指しています。育心会の「旬の情報」をお届けしていくように努めます。



●文化・芸術委員会 新

主担当 木村 裕

陶芸やお花作りを通して利用者様の楽しい施設生活のお手伝いをさせていただけたらと思っています。また、ハイツ祭の展示発表会を大きな目標として、日常の生活中に心が安らぐ空間づくりを目指していきます。

●事故防止委員会

主担当 阿部順子

年2回行われる総合防災訓練や救命救急法の研修、リスクマネージメント研修、ひやりはっとの検討など様々な取り組みながら来年度は自然災害対応マニュアル作りをすすめます。

●身体拘束廃止委員会

主担当 田中さとこ

自由で穏やかな施設生活を送って頂けるように、行動を制限することではなく、ケア方法の質を高めるなど、広い視野で取り組んで行きたいと思います。

●入所判定委員会

主担当 千葉明美

入所決定や入所候機者に関するごとについて審議を行っています。今後も、学識経験者や地域の代表者である、第三者委員とともに入所判定を適正に行うため活動していきます。

春がきた!

雛まつり・お茶会



育心会茶道サークルでは野原会長夫人の指導のもと、雛まつりお茶会を開きました。お稽古をはじめて1年。緊張しどおしましたが、皆様の「おいしかった!」の声に、今後も腕を磨き美味しいお茶を召し上がって頂こうと思いました。

飲んで、食べて、唄って、大満足!

<お品書き>

居酒屋～エビスビール、越乃寒梅、手打ちそば、たこ焼きetc
ちゃんこ鍋交流会～「ちゃんこ太五郎」さんのちゃんこ巡業。
クリスマス忘年会～寿司職人さんが出張にぎりでおもてなし。
新年会～松花堂弁当に彩り鮮やかな料理を盛り合わせ、お腹
も満足な初春を迎えました。



新年会



クリスマス 忘年会



居酒屋



ちゃんこ鍋 交流会



平成22年度事業計画のポイント

－地域の総合的な福祉サービスの提供－

平成22年3月24日、25日の両日に当法人評議員会、理事会が開催され、平成22年度事業計画及び収支予算などについて決定されました。

ここに、事業計画の一部をご紹介いたします。

特別養護老人ホーム

●個別相談日の新設

ご利用者、ご家族が不安なく安心して暮らせるようプライバシーに配慮した個別相談を実施します。

●生きがい活動の充実

外出機会を多く企画し、社会参加への支援を行います。

●利用者の健康管理

高齢化に伴う心身機能の低下による症状悪化、急変に対応するため、日々の状態観察を重点に行います。

●安全な食事提供・食事サービスの向上

衛生管理の徹底を継続的に行うとともに、個々の摂食状況などを調理の参考にするため、調理担当職員が利用者と食卓をともにします。

軽費老人ホーム

●身体状況の変化に対応した生活支援

身体状況の変化に対応し、隣接する介護サービスなどを利用しながら、可能な限りホームでの生活が継続できるよう支援します。

●安全安心な暮らしの提供

給食、居室配膳、入浴などの生活支援サービスを継続的に実施するとともに、防災、感染症予防の啓蒙活動を実施し、安心安全な暮らしを提供します。

通所介護事業（デイサービス）

●サービス内容の充実

時間延長サービスの継続実施を行うとともに、ご利用者、ご家族のご要望に柔軟に対応し、サービスの充実を図ります。

●チームケアの実践

対話と親身になる姿勢を基本として、ゆとりあるチームケアの実践を行います。

5つの重点

- ①地域に開かれ、地域に役立つ福祉相談窓口
- ②プライバシーに配慮した福祉サービス内容の充実
- ③開拓的・創造的事業の開発
- ④地域のパイプを大きくし、協働の輪を広げる
- ⑤施設環境を整え、安全・安心を確保

訪問介護事業（ヘルパー）

●サービスの向上

お茶飲み訪問を行い、ご利用者のご要望の聞き取りを実施しサービス向上に反映します。

●職員の資質向上

部署会議の充実を図るとともに、職員個別の目標設定・評価の取り組みの過程から、着実な資質の向上を目指します。

居宅支援事業・介護支援センター

●迅速なサービス対応

ご利用者の視点に立ったケアプランの作成を推進し、関係機関との連携を図り、迅速なサービス対応を行います。

●地域ネットワークの推進

福祉交流館「暖炉の家」を活用した、地域との協働行事、介護予防の教室などを行い、地域福祉の充実を図ります。

●総合相談窓口

高齢者に関する相談はもとより、障害者、子育て世代など、幅広い相談への対応を行ない、地域の総合的な相談窓口としての機能を果たします。

設備整備・修繕

- 地上デジタル放送用アンテナの設置（軽費、特養）
- 車椅子トイレ改修（特養）
- 蛇口（洗面所）の交換（特養）
- 施設内壁面の改修（特養）



評議員会 平成22年3月24日

Information



[ご寄贈・ボランティアのみなさま]

平成21年11月～平成22年3月

■ご寄贈 (50音順)

- *飯岡木材 様
- *今松 英雄 様
- *漆原 幸子 様
- *遠藤 勝也 様
- *小原 孝一 様
- *川村 美恵子 様
- *小林 絹江 様
- *小松 信行 様
- *小松 八重子 様
- *齊藤 繁 様
- *坂本 興子 様
- *佐藤 ユキ 様
- *沢田 チヤ 様
- *篠田 キミ子 様
- *白石食品工業株式会社 様
- *住友生命 新毘沙門支部 様
- *高橋 恵美子 様
- *高橋 孝一 様
- *高橋電機 様
- *高橋 ハナミ 様
- *豊島 美喜子様
- *中村 晃子 様
- *西川 テル 様
- *藤澤 茂 様
- *藤原 功子 様
- *ホットエム 様
- *米田 ハツエ 様
- *村松 愛教 様
- *盛岡タクシー 様
- *山本 一子 様

Event News

おたのしみに！

チャグチャグ馬コ

●日時／平成22年6月上旬



夏まつり

●日時／平成22年8月7日(土)
14:30～16:00

●会場／暖炉の家周辺
●内容／子どもさんさ踊りや、屋台の焼き鳥も味わえます。



編集後記

いきなり年齢や当日の曜日を訊かれて、すぐに返答できる人は羨ましいです。まだまだ若いと軽がっても、高齢の方がたの失笑を貰う場面が正直多くあります。

その点、年配者は、記憶の世界から解放されているのか、物忘れを笑いに切り換えたり、自慢話に転換できる奇妙な術があります。激しく口論したかと思えば、帰りには笑顔で別れられる。たぶん神様は、高齢者にたいして特別な優しさをもってストレス解消法を授けているのでしょうか。

(ばく ばく)
(放 闊)

■ボランティア (50音順)

- *安代 雪絵 様
- *伊藤 権次郎 様
- *遠藤 育子 様
- *斎藤 征子 様
- *佐々木 ヒデ 様
- *鈴木 ヤイ 様
- *ちゃんこ太五郎 様
- *野原 昭子 様
- *藤田 セツ 様
- *藤田 義男 様
- *細田 栄 様
- *三原 ユキ子 様
- *村井 和子 様
- *八重樫 源藏 様

